

広東省および主要都市の経済概況(2019年)



【地理・歴史】大陸部最南端に位置。福建省、江西省、湖南省、広西チワン族自治区、香港・マカオと隣接。省内を流れる珠江の河口周辺部は珠江デルタと呼ばれ、広州市、深圳市、東莞市など9市からなる経済の中心地。方言話者が多く、広東語4,000万人、閩南語1,700万人、客家語1,500万人。広東出身の華僑・華人は3,000万人以上で全国の半数を占める。

【経済・産業】1980年に深圳市・珠海市・汕頭市が経済特区に指定、香港資本の誘致を中心に対外開放が進んだ。深圳市・東莞市では香港を活用した広東式の加工貿易（原材料を保税輸入し加工品を輸出）が発展。多くの外資系企業が進出し電子・電機産業が集積。中でも深圳市は中国最大の電子・電機の集積地に。2000年代は「転型昇級」と呼ばれる産業構造転換・高度化を図り、加工貿易が柱の輸出型経済から、高付加価値・ハイテク産業やサービス産業への転換を推進。広州市周辺は日系を中心に自動車産業も集積、完成車280万台を生産し全国トップクラス。深圳市は「山寨（模倣品）」の街を経てハードウェア系スタートアップ/ベンチャーの中心地に。

【その他】2015年には広州南沙新区、深圳前海新区、珠海横琴新区に中国（広東）自由貿易試験区が設置。「粵港澳大湾区」計画により広東省・香港・マカオの連携強化をめざし、三地域を繋ぐ「港珠澳大橋」や広州市～香港の高速鉄道などインフラ整備が進む。

【日系企業】珠江デルタ中心に自動車、電子・電機、小売・飲食、化学品、機械など約1,600社。

2019	単位	広東省	対前年増減	全国に占める広東省の割合	広州市	対前年増減	広東省に占める広州市の割合	深圳市	対前年増減	広東省に占める深圳市の割合
①面積	万km ²	18.0	—	1.9%	0.7	—	4.0%	0.2	—	1.1%
②常住人口	万人	11,521	1.5%	8.2%	1,531	2.8%	13.3%	1,344	3.2%	11.7%
③GRP	億元	107,671	6.2%	10.9%	23,629	6.8%	21.9%	26,927	6.7%	25.0%
うち第1次産業	億元	4,351	4.1%	6.2%	251	3.9%	5.8%	25	5.2%	0.6%
うち第2次産業	億元	43,546	4.7%	11.3%	6,454	5.5%	14.8%	10,496	4.9%	24.1%
うち第3次産業	億元	59,773	7.5%	11.2%	16,923	7.5%	28.3%	16,406	8.1%	27.4%
④固定資産投資	億元	—	11.1%	—	—	16.5%	—	—	18.8%	—
⑤社会消費品小売総額	億元	42,664	8.0%	10.4%	9,976	7.8%	23.4%	6,583	6.7%	15.4%
⑥都市住民一人当たり可処分所得※2	元/年	48,118	8.5%	—	65,052	8.5%	—	62,522	8.7%	—
⑦貿易額※2	億元	71,437	▲0.2%	22.6%	9,996	1.9%	14.0%	29,774	▲0.6%	41.7%
うち輸出※2	億元	43,379	1.6%	25.2%	5,258	▲6.2%	12.1%	16,709	2.7%	38.5%
うち輸入※2	億元	28,057	▲2.9%	19.6%	4,738	12.7%	16.9%	13,065	▲4.7%	46.6%
⑧対内直接投資額※2(実行ベース)	億元	1,522	4.9%	16.1%	501	8.1%	32.9%	538※3	0.2%	35.4%

(出所) 中国統計局、広東省統計局、広州市統計局、深圳市統計局 (※1 各数値は小数点以下、%は小数点第二位以下を四捨五入している。 ※2 GRP伸び率は実質。 ※3 深圳市統計局の発表の基に、ジェトロが算出。)